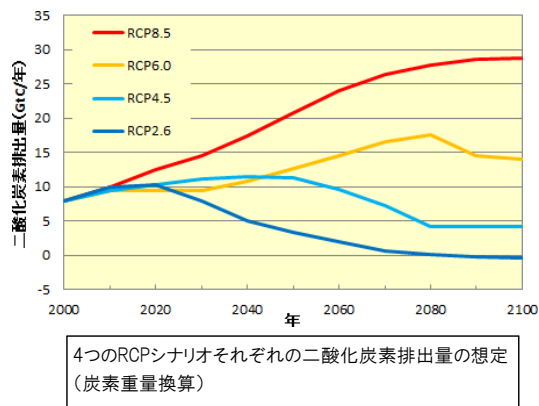


予測資料について

このリーフレットには、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減対策が今後ほとんど進まず、地球温暖化が最も進行する場合を想定して21世紀末の気候を予測した結果を掲載しています。

予測に際しては、「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」が2013年に公表した第5次評価報告書で採用した4つの温室効果ガス排出シナリオの中で最も排出量の多い「RCP8.5シナリオ」に基づいて、気候予測モデルを用いたコンピュータシミュレーションを実施しました。



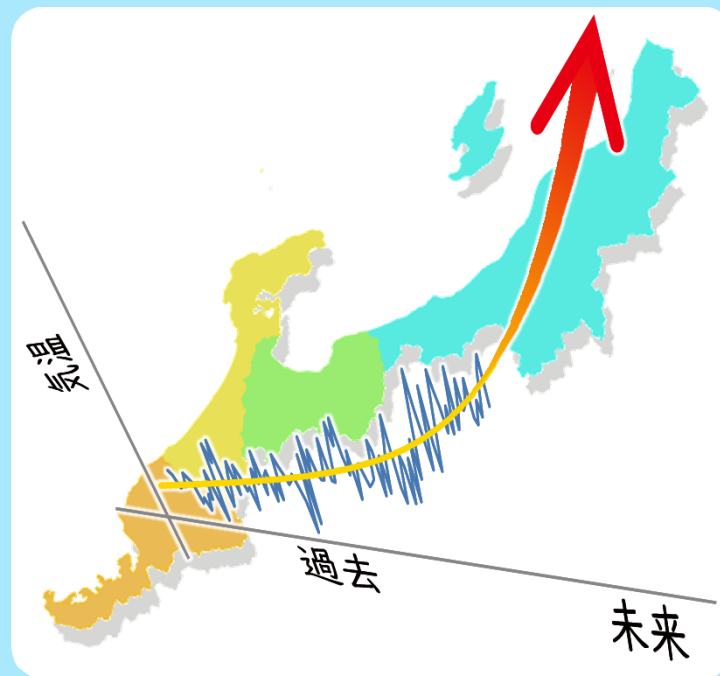
将来気候・現在気候・平年値について

将来気候	気候予測モデルによる21世紀末（2076～2095年）における気候の予測結果です。
現在気候	気候予測モデルが再現した20世紀末（1980～1999年）の気候です。実際の観測に基づく値とは異なります。
平年値	1981～2010年までの平均値で、実際の観測に基づく値です。

21世紀末の気候

北陸地方（新潟県、富山県、石川県、福井県）

地球温暖化が最も進行する場合の
気温と降水の予測



全国版の情報はこちら

地球温暖化予測情報第9巻

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/GWP/index.html>



新潟地方気象台

新潟県新潟市中央区美咲町 1-2-1
新潟美咲合同庁舎2号館

Tel: 025-281-5871

地球温暖化が最も進行する場合の

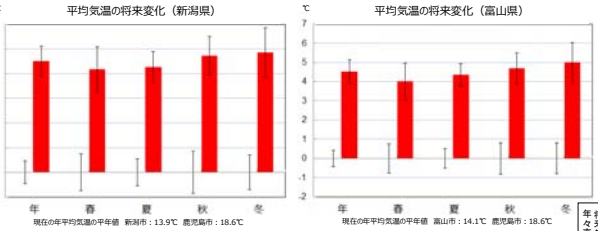
気温の予測

地球温暖化が最も進行する場合の

降水の予測

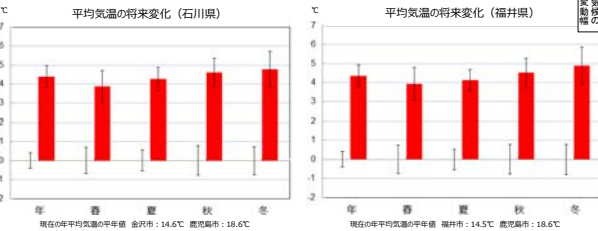
▷新潟県、富山県では年平均気温が100年で約5℃上昇

※新潟県における年平均気温の長期変化傾向は100年あたり1.3℃の上昇（計算期間：1886～2017年）
※富山県における年平均気温の長期変化傾向は100年あたり2.2℃の上昇（計算期間：1939～2017年）



▷石川県、福井県では年平均気温が100年で約4℃上昇

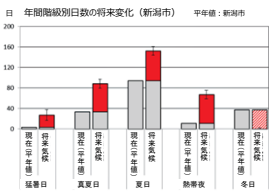
※石川県における年平均気温の長期変化傾向は100年あたり1.6℃の上昇（計算期間：1882～2017年）
※福井県における年平均気温の長期変化傾向は100年あたり1.5℃の上昇（計算期間：1939～2017年）



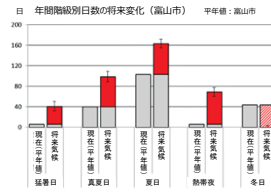
新潟市、富山市、金沢市、福井市の年平均気温は現在の鹿児島市と同程度に！

▷新潟市では猛暑日が100年で約20日増加

▷富山市では猛暑日が100年で約40日増加



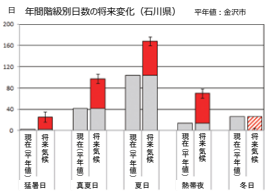
真夏日は約50日、夏日・熱帯夜は約60日、それぞれ増加



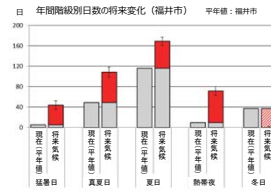
真夏日・夏日・熱帯夜は約60日の増加

▷石川県では猛暑日が100年で20日程度増加

▷福井市では猛暑日が100年で約40日増加



真夏日・夏日・熱帯夜は60日程度の増加



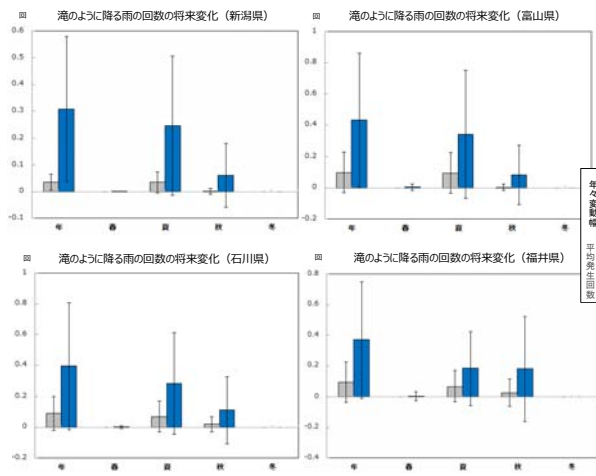
真夏日・熱帯夜は約60日、夏日は約50日、それぞれ増加

※赤線は減少を示し、黒線は増加を示す
※赤線は減少を示し、黒線は増加を示す

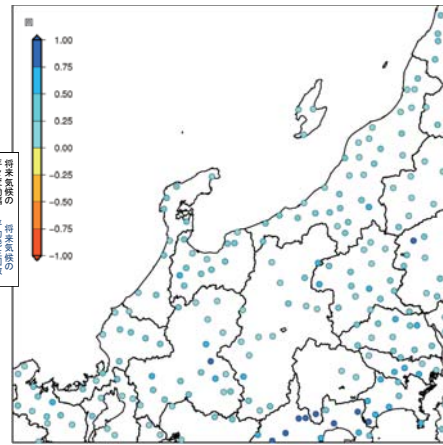
階級別日数
 猛暑日：日最高気温35℃以上
 真夏日：日最高気温30℃以上
 夏日：日最高気温25℃以上
 熱帯夜：日最低気温25℃以上
 冬日：日最低気温0℃未満

▷北陸地方（新潟県、富山県、石川県、福井県）では滝のように降る雨が増加

※滝のように降る雨：1時間降水量50mm以上

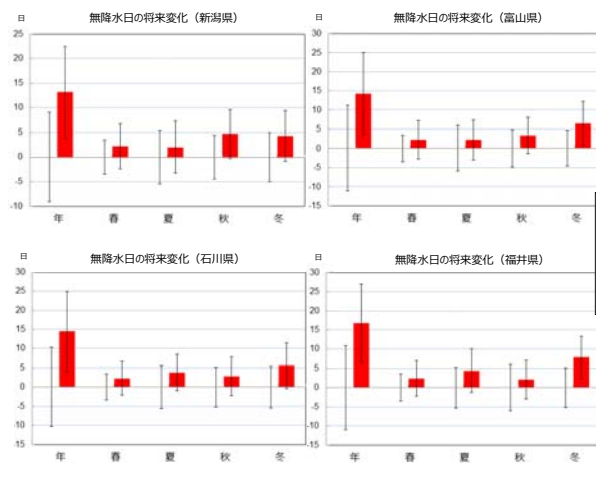


滝のように降る雨の年間回数の将来変化の分布図

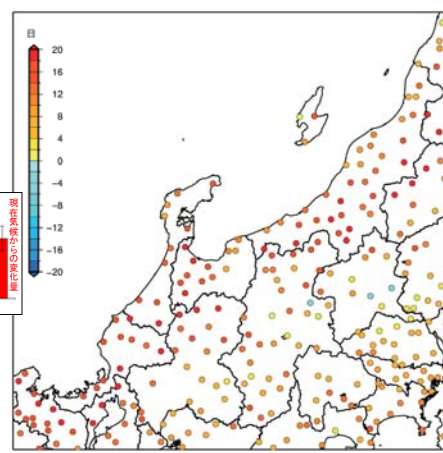


▷北陸地方（新潟県、富山県、石川県、福井県）では降水の無い日も増加

※降水の無い日（無降水日）：日降水量1mm未満



年間無降水日の将来変化の分布図



➡ 産業・生態系など広い分野への大きな影響と健康被害の増大

➡ 大雨による災害発生や水不足などのリスクが増大